

天王森泉公園周辺散策マップ



1 天王森泉公園



平成9年11月に開園し、天王森泉館を中心に昔ながらの原風景を残した緑豊かな、そしてホタルやワサビを育む豊富な湧き水のある公園です。天王森泉館は旧清水製糸場本館です。明治期に建てられた市内に残る唯一の製糸関連の遺構で、和泉・飯田・阿久和地区が一大製糸産業地であったことを偲ばせます。平成10年1月、横浜市認定歴史的建造物に選ばれました。

2 境川遊水地公園



境川遊水地公園は、泉区、戸塚区、藤沢市に位置し、境川の洪水被害を軽減させるための遊水地を平常時には公園として利用しています。野球・テニスなどのスポーツのほか、様々な生物の観察や水辺の風景を楽しむことができます。園内の情報センターでは、遊水地の仕組みやここで観察できる生物の紹介、発掘された貝化石などの展示がされています。また鷺舞橋は全長129mの片面吊り構造という珍しい吊り橋です。
(天王森泉公園から0.8Km)

天王森泉公園 周辺散策マップ



天王森泉公園

3 鯖神社



和泉川沿いにみられるサバ神社の一社です。祭神は左馬頭源満仲。慶長年間(1596～1615)、当地の郷士清水・鈴木両氏が氏神として勧請したといわれています。元禄2年(1689)に氏子の寄進による社殿修復の様子が残されています。神社のすぐ下あたりに、かつての清水製糸場があり、この工場で使用していた崩れかかった横井戸や水路が境内から望めます。

4 密蔵院



高野山真言宗で、開山は祐海法印(天文14年・1545年寂)、本尊は願行作とされる不動明王です。境内には貞和3年(1347)の板碑があり、石段下には文政4年(1821)建立の木食観正碑があります。ハクモクレンは有名で、3月彼岸の開花時には多くの参詣者の目を楽しませてくれています。環状4号線の道路工事により寺の所有地が広く提供されたため、境内や寺域の環境が大きく変わりました。

(天王森泉公園から0.5Km)

5 東泉寺



以前は境川沿いにありましたが、度重なる水害で、天正18年(1590)頃、当地の領主旗本寛為春によって移転されたと伝えられています。曹洞宗で鎌倉龍宝寺の末寺。山号を巨木山と称し、山門前の大イチョウは市の名木古木に指定されています。また、境内の薬師堂には飯田五郎家義の守本尊と伝えられる薬師如来像のほか、相模国準四国八十八ヶ所五十九番札所の弘法大師石像が安置されています。

6 宝心寺



和泉山松雲院と号し、本尊は阿弥陀仏です。もとは、泉小次郎親衛が菩提寺として建立した泉龍寺といわれ、子孫が絶え荒廃していたのを、慶安4年(1651)に領主の松平勝左衛門昌吉が浄土宗の寺として建立し、宝心寺としました。境内には和泉廻化地藏尊と岩舟地藏尊や庚申塔があり、参道入口には車塔が建っています。他に市指定の名木古木が立ち並んでいます。
(天王森泉公園から1.8Km)

7 中之宮左馬神社



祭神は左馬頭源満仲・天照皇大神で、中和泉地域の鎮守さます。和泉川沿いに見られるサバ神社の一社で、源家隆盛の頃の勧請といわれています。寛永2年(1625)、和泉村の領主となった松平勝左衛門昌吉は、この神社を村の鎮守として再興し、能見松平家の累代の祈願所としました。総けやき造りの本殿は立派です。境内には木食観正碑・庚申塔・西南の役の忠魂碑などがあります。

(天王森泉公園から2.1Km)

8 泉中央公園



昭和61年秋、泉区誕生と同時に開園し、再整備により平成28年3月に再オープンしました。この地は鎌倉時代の武将泉小次郎親衛の館跡と伝えられています。遺構として、東側と南側に空堀と土塁が残っています。「小次郎馬洗いの池」は一年中湧き水が枯れたことがなく、昔は池の水を汲み干して雨乞いの願いをかけました。園内には、空充秋作の彫刻「門」があります。

9 三柱神社



この神社は、上飯田下組(現、上飯田南町)の地域内にあった三つの神社を大正元年(1912)に、移転合祀したものです。その三柱とは、菅原道真を祀る天神社、大山咋命を祀る日枝神社、豊受媛命を祀る神明社です。境内には庚申塔3基と蚕霊供養塔があります。庚申塔のうち文久元年(1861)造立のものは、大山道道標を兼ねています。

10 蚕霊供養塔



三柱神社に「蚕霊神鎮座」と刻まれた碑が立っています。上飯田下組(現、上飯田南町)の地域の養蚕農家が建てた供養塔です。明治・大正・昭和初期、泉区域の村々では養蚕が盛んに行われ、農家の経済を支える大切な産業でした。同じ供養塔がJ横浜和泉支店横の神明社前にも立っています。

11 左馬神社



境川沿いに多く見られるサバ神社の一社です。祭神は左馬頭源義朝で、平安末期に飯田五郎家義が勧請したとも、小田原北条時代に領主川上藤兵衛が勧請したとも言われています。天正18年(1590)に領主となった寛越前守助兵衛が春は地域の鎮守さまとして信仰し、社殿を修復しました。境内のイチョウは市指定の名木古木です。他に堅牢地神塔・庚申塔などがあります。(天王森泉公園から1.7Km)

12 富士塚城址碑



富士塚団地内に「富士塚城址」の石碑のある公園があります。この辺りは、源頼朝の危機を救った飯田五郎家義の館があったところと言われています。造成前には空堀の跡と思われる窪地やそれらしき地名も残っていました。また明治32年(1899)には五輪塔や納骨瓶が出土しました。当地の人々は、飯田氏の墳墓であろうと考え、近くに「古賢大菩薩」の碑を建て供養しました。

13 福泉寺



横浜市戸塚区俣野町にある福泉寺は曹洞宗のお寺で北谷山福泉寺という。お寺の縁起はわからないが平成9年(1997年)に本堂・鐘楼堂などの堂宇を再建した。その時までに山門も茅葺きから銅板屋根に葺き替えられた。鐘楼堂の梵鐘も昭和40年(1965年)に铸造されたもので、簡素なものだ。山門横に平成元年(1989年)に建立された六地藏がある。(天王森泉公園から1.4Km)

14 俣野公園



旧ドリームランド(遊園地)の跡地を活用し、整備された総合公園です。公園中央にはトイレ、レストハウスがあり、清潔感のあるきれいなレストハウスには自動販売機もあり少し休憩することができます。市営墓地の「メモリアルグリーン」の池や河周辺の「せせらぎ」と呼ばれる場所です。草木が多く日陰になっている場所なので、涼しい風を感じることができます。樹木・草花などの緑豊かな園内の樹林広場には野外卓もあるので、お弁当を食べるにはぴったり。公園内には横浜葉大スタジアムや多目的広場、遊戯広場などがあります。芝生にレジャーシートを敷いてごろごろするのもいいですね。
(天王森泉公園から0.8Km)

天王森泉公園 周辺散策マップ



天王森泉公園

URL:https://www.tennoumori.net



当公園
QRコード

1版 2020年2月10日

15 花應院



慶長9年(1604年)に開山は国境と開基は祖桂として創建された。近くにあった閻魔堂(法王院十王堂、浄土宗、定光寺末寺、武蔵国六浦金沢からの金沢道沿い。小栗判官の墓がある。)が天保11年間(1840年)に火災にあい閻魔大王像(木造、像高104cm)が運び込まれた。(天王森泉公園から1.6Km)

